

埼玉県連合支部第10回会員勉強会：講演会（Zoom ミーティング形式）

開催日：2021年7月10日（土）13:30～17:00

会場：Zoomによるオンライン会

参加者：（参加申込者数：54名 [埼玉県連合支部 34名 県外支部 20名]）

当日参加者数 42名

埼玉県連合支部 25名（さいたま支部 13名、川越支部 4名、熊谷支部 8名）

東京連合支部 8名（化学材料支部 4名、電気電子情報支部 2名、繊維生物化学支部 2名）

他支部 9名（以下支部・連合支部各1名 千葉県支部、横浜支部、高崎支部、前橋支部、茨城南支部、静岡県連合支部、東海連合支部、大阪神戸連合支部、四国支部）

一般社団法人 群馬大学工業会
埼玉県連合支部「第10回会員勉強会」：講演会
2021年7月10日（土） 13:30～17:00

講演1. 『渋沢栄一の生涯とその事績』 13:40～15:10
講師：桑原功一氏 渋沢史料館副館長

休憩 15:10～15:20

講演2. 『健康長寿で生き生き人生を送る！』 15:20～16:50
講師：高山清茂氏 埼玉医科大学客員教授/群馬大学名誉教授

渋沢史料館副館長 桑原先生のご講演

渋沢栄一は、生まれは農家、尊王攘夷運動、一橋家家臣、幕臣、明治新政府役人、実業家、晩年は教育事業、社会福祉事業と、思想的に相反するところに席をおいたり、多岐にわたる分野で活動を行ったがゆえにとらえにくいところがありましたが、栄一の根幹に流れている考えが理解できました。明治新政府役人になる前までのところは、大河ドラマ「青天に衝け」の放映中でもあり、栄一と係わりのあった人物についてドラマで演じている役者名もだして、理解しやすく語っていただきました。特に、深谷生まれの栄一と上州・群馬との関係について、伊勢崎、太田との関係、富岡製糸場、両毛鉄道のことなど史料を引用しながら説明いただき、渋沢栄一をより身近に感じることができました。

群馬大学医学部名誉教授 高山先生（修48C）のご講演

体の健康を調節しているのは脳であり、体と心の関係をもとに、ストレスが体調不良の引き金となることを解説され、現在のストレスの多い社会を元気に生きるにはどのように過ごせばよいかについて講演されました。健康のための一、十、百、千、万（自分を褒める・心の底から笑う・深呼吸・千文字書く・1万歩歩く）、癌を防ぐための12カ条、統計データによるとボケないためには毎日魚介類を食べるのがよいことなど、健康維持していく上で重要な心がけ・行動についてお話くださいました。最後にウルマンが70代で書いた「青春の詩」『青春とは人生のある時期をいうのではなく心のもち方である。』でしめくられました。



後記

この講演会は昨年実施する計画でしたが、コロナ禍で1年延期することとしました。しかし1年後もコロナ禍は収まるどころか拡大してしまい、埼玉県連合支部としては初めてのZoom利用による講演会としました。

リモート形式であるので、東京化学材料支部へのお声掛け、工業会ホームページへの掲載等を行いました。同級生や友人への口コミもあり、埼玉県連合支部以外から17名という多くの方に参加いただきました。

後日、今後の講演会についてアンケートを行ったところ、埼玉県連合支部では、会場集合方式+Zoom方式(併用型)が良いという人が最も多く(20名中14名)、県外支部の方は回答者11名全員が、良い企画であればZoom方式講演会に参加したいということでした。

コロナ禍ということからリモート方式講演会とせざるをえませんでした。社会のデジタル化が進む中、これからの連合支部の活動を考えると、リモート形式は活動の幅を広げる方法となりそうです。

さいたま支部長 小西(修49C) 記